

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成31年1月24日(2019.1.24)

【公開番号】特開2018-192334(P2018-192334A)

【公開日】平成30年12月6日(2018.12.6)

【年通号数】公開・登録公報2018-047

【出願番号】特願2018-172031(P2018-172031)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月13日(2018.11.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の判別を行う判別手段と、

その判別手段の判別結果が特定の判別結果となったことに基づいて遊技者に有利な特典遊技を実行する特典遊技実行手段と、

遊技球が入球したことに基づいて所定の特典が付与される入球手段と、

その入球手段の状態として、遊技球が入球可能な第 1 状態と、その第 1 状態よりも遊技球が入球し難くなる第 2 状態と、を 1 の前記特典遊技において設定する入球状態設定手段と、

前記判別手段の判別結果を示すための識別情報を動的表示させる動的表示手段と、

その動的表示手段による前記識別情報の動的表示における動的表示期間を、前記判別手段による判別が実行される毎に、当該判別の判別結果に応じて設定する動的表示期間設定手段と、

1 の前記特典遊技において最後に設定される前記第 1 状態が終了したことに基いて、少なくとも前記第 2 状態が設定されている間に実行される演出態様である第 2 状態演出態様によって示唆される遊技と同一の遊技を示唆することが可能な第 1 演出を、予め定められた第 1 期間で実行する第 1 演出実行手段と、を備え、

前記動的表示期間設定手段は、少なくとも前記特典遊技が終了した後における前記判別手段による判別の実行回数が特定回数以下の範囲において前記特定の判別結果となる場合に、前記第 1 演出が開始されてからの経過期間が前記第 1 期間以下の長さの予め定められた第 2 期間となった時点で前記特定の判別結果を示すための前記識別情報の動的表示が終了するように前記動的表示期間を設定可能なものであり、

前記第 1 演出の実行中に予め定められた特定条件が成立した場合に、前記第 1 演出の開始から前記第 1 期間を超えた後の演出態様として、前記第 1 演出の実行中に設定される演出態様のうち少なくとも一部が実行される第 2 演出を設定することが可能に構成されているものであることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記識別情報を表示可能な表示手段を備えることを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 4 】

しかしながら、更なる興趣の向上が求められている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

この目的を達成するために請求項 1 記載の遊技機は、所定の判別を行う判別手段と、その判別手段の判別結果が特定の判別結果となったことに基づいて遊技者に有利な特典遊技を実行する特典遊技実行手段と、遊技球が入球したことに基づいて所定の特典が付与される入球手段と、その入球手段の状態として、遊技球が入球可能な第 1 状態と、その第 1 状態よりも遊技球が入球し難くなる第 2 状態と、を 1 の前記特典遊技において設定する入球状態設定手段と、前記判別手段の判別結果を示すための識別情報を動的表示させる動的表示手段と、その動的表示手段による前記識別情報の動的表示における動的表示期間を、前記判別手段による判別が実行される毎に、当該判別の判別結果に応じて設定する動的表示期間設定手段と、1 の前記特典遊技において最後に設定される前記第 1 状態が終了したことに基づいて、少なくとも前記第 2 状態が設定されている間に実行される演出態様である第 2 状態演出態様によって示唆される遊技と同一の遊技を示唆することが可能な第 1 演出を、予め定められた第 1 期間で実行する第 1 演出実行手段と、を備え、前記動的表示期間設定手段は、少なくとも前記特典遊技が終了した後における前記判別手段による判別の実行回数が特定回数以下の範囲において前記特定の判別結果となる場合に、前記第 1 演出が開始されてからの経過期間が前記第 1 期間以下の長さの予め定められた第 2 期間となった時点で前記特定の判別結果を示すための前記識別情報の動的表示が終了するように前記動的表示期間を設定可能なものであり、前記第 1 演出の実行中に予め定められた特定条件が成立した場合に、前記第 1 演出の開始から前記第 1 期間を超えた後の演出態様として、前記第 1 演出の実行中に設定される演出態様のうち少なくとも一部が実行される第 2 演出を設定することが可能に構成されているものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

請求項 2 記載の遊技機は、請求項 1 記載の遊技機において、前記識別情報を表示可能な表示手段を備える。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

本発明の遊技機によれば、所定の判別を行う判別手段と、その判別手段の判別結果が特定の判別結果となったことに基づいて遊技者に有利な特典遊技を実行する特典遊技実行手段と、遊技球が入球したことに基づいて所定の特典が付与される入球手段と、その入球手段の状態として、遊技球が入球可能な第 1 状態と、その第 1 状態よりも遊技球が入球し難くなる第 2 状態と、を 1 の前記特典遊技において設定する入球状態設定手段と、前記判別

手段の判別結果を示すための識別情報を動的表示させる動的表示手段と、その動的表示手段による前記識別情報の動的表示における動的表示期間を、前記判別手段による判別が行われる毎に、当該判別の判別結果に応じて設定する動的表示期間設定手段と、1の前記特典遊技において最後に設定される前記第1状態が終了したことに基づいて、少なくとも前記第2状態が設定されている間に実行される演出態様である第2状態演出態様によって示唆される遊技と同一の遊技を示唆することが可能な第1演出を、予め定められた第1期間で実行する第1演出実行手段と、を備え、前記動的表示期間設定手段は、少なくとも前記特典遊技が終了した後における前記判別手段による判別の実行回数が特定回数以下の範囲において前記特定の判別結果となる場合に、前記第1演出が開始されてからの経過期間が前記第1期間以下の長さの予め定められた第2期間となった時点で前記特定の判別結果を示すための前記識別情報の動的表示が終了するように前記動的表示期間を設定可能なものであり、前記第1演出の実行中に予め定められた特定条件が成立した場合に、前記第1演出の開始から前記第1期間を超えた後の演出態様として、前記第1演出の実行中に設定される演出態様のうち少なくとも一部が実行される第2演出を設定することが可能に構成されているものである。